



広報はアプリ「マチイロ」でも読みます

松田町公式サイト <http://town.matsuda.kanagawa.jp/>

令和元年
(2019)

10

●人口 10,903人 ●4,576世帯
(令和元年9月1日現在)

編集・発行 松田町政策推進課
〒258-8585 松田町松田惣領 2037番地
☎0465-83-1222 fax:0465-83-1229

しぶ や とし みつ

郷土の偉人 日本陸上界に貢献した澁谷壽光さんの生涯

わたしたちの郷土、松田は優れた風土と豊かな歴史文化に恵まれ、多くの偉人を育んできました。わたしたちは、郷土への誇りと愛着を育むために、先人たちの功績を学ぶとともに、文化の伝承が必要になります。今月号は、松田町出身の澁谷壽光さんの生涯を紹介します。 開 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021 学校教育係 ☎(83)7023

昭和のスポーツレガシー展

10月12日(土)～18日(金)午前9時～午後5時
町民文化センター 1階展示ホール

▼開催日程

	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
午前	○	○	○	休館	×	×	○
午後	×				○	○	

※13日(日)、14日(月・祝)、18日(金)は午前9時～午後5時
※16日(水)、17日(木)は午後1時～5時の開催となります。

同時開催
講演会

もう一人のいだてん ～金栗四三とともに日本陸上界を牽引した澁谷壽光さんの生涯～

- 日 10月12日(土) 午前10時～11時30分
場 町民文化センター 1階 展示ホール
講 吉田信男さん(足柄上郡陸上競技協会会長)
澁谷彰久さん(山梨県立大学教授)
申 10月9日(水)まで 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021



母校である松田小学校には、

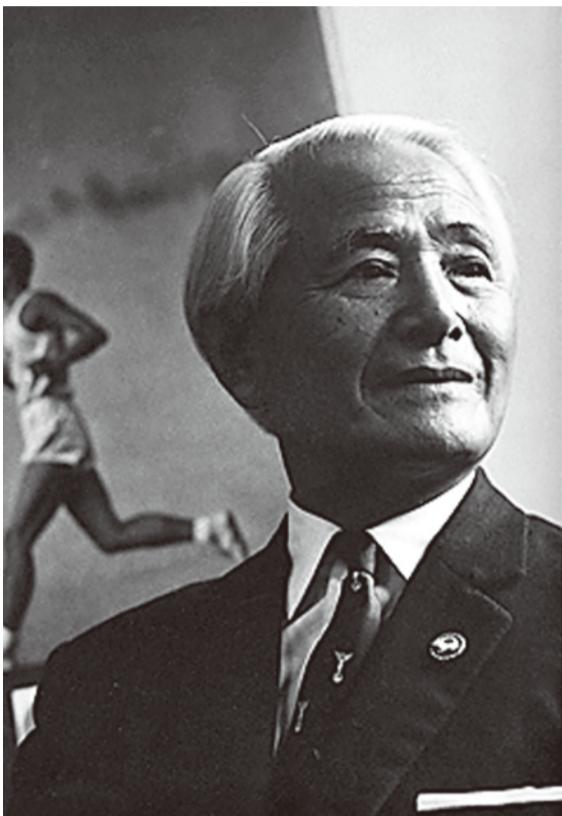
澁谷さんは故郷である松田町に思いをはせ、さくら保育園や城山地域集会施設に東京オリンピック参加国の国旗を掲揚したポールを寄贈されました(一部は弟の直栄さんからの寄贈)。その1本には、「ふるさとはいつまでもわすれまい」と刻まれています。

柔軟な表情が刻まれているレ

「ふるさとはいつまでもわすれまい」

澁谷壽光さんは、明治27(1894)年に現在のさくら保育園にあつた生家で生まれ、松田小学校から神奈川県立第二中学校(現県立小田原高等学校)、東京高等師範学校(現筑波大学)に進学しまし

た。卒業後は、教員として母校の県立小田原中学校(県立徒歩部(現陸上競技部)の顧問)で第二中学校から校名改称)として、多くの長距離ランナーを育てるとともに、等師範学校の先輩の金栗四三(東京高



マラソン円谷選手のゴールを見守る
澁谷さん(1964年)

さん(日本マラソンの父と呼ばれ、オリンピックに初参加した人物で、NHK-TV大河ドラマ「いだてん」の主人公)と箱根駅伝の企画を担当され、自ら測量を行つて中継地点を決めるなどご尽力されました。昭和の初めには、陸上競技の発展に努め、1936年

『澁谷賞』は平成20年をもつて終わりましたが、松田小学校では、壽光さんと裕さん、親子二代にわたつての願いを込めた『澁谷賞』とレリーフを



リーフを寄贈されました。このレリーフの下には、河野洋の書いた「心と体を大切に」という銘文

平さん(元日本陸上競技連盟会長)が書いた「心と体を大切に」という銘文



箱根駅伝審判長車の前で(1980年)

昭和のスポーツレガシー展 と町民大学(講演会)

今回の「昭和のスポーツレガシー展」では、澁谷さんが携わった3大会のオリンピック(ロサンゼルス大会、ベルリン大会、東京大会)や県立小田原中学校での教師時代、箱根駅伝関係の写真や遺品などを展示してその足跡をたどります。

また、12日(土)の町民大学では、吉田信男さん(足柄上郡

陸上競技協会会長)と澁谷彰久さん(壽光さんのお孫さん、山梨県立大学教授)を講師と

して澁谷さんの陸上人生についてのお話を伺います。

多くの方のご来場をお待ちしております。